

倉敷

2018
AUTUMN
in FUKUOKA

KURASHIKI Arts & Fabrica

アーツ&ファブリカ展

～美術館のあるまち、倉敷美観地区～

倉敷美観地区

2018

会期

10月10日(水) → 10月16日(火) 最終日は午後5時閉場

会場

岩田屋本店 新館6階 ステージ#6



大原美術館

日本で初めて西洋美術が鑑賞できる美術館として昭和5年に開館。所蔵品は西洋美術、日本美術、工芸・東洋、オリエントなどの分野に、約3,000点(うち絵画1,000点)を誇っています



吹きガラス製品

倉敷に関わる民芸の伝統を受け継ぎ、市内に工房を構え独自の技法とこだわりを作品制作に活かし、常に新しいもの、生活を彩るものを生み出し続けています



mt (マスキングテープ)

倉敷で生まれたカラフルな色づかいや多種多様な柄が特徴のmtは、女性を中心に全国的なヒット商品となりました



児島ジーンズストリート

国産ジーンズ発祥の地、倉敷市児島では縫製技術や加工技術の進化と共に個性あふれるジーンズ商品が展開されています



倉敷帆布

綿花栽培が盛んで糸を撚る技術もあった倉敷は、今なお綿帆布の日本一の生産量を誇ります。そして、トートバッグなど、暮らしに寄り添う身近な製品も新しく開発しています



い草文化と畳縁

日本の文化である畳、花ゴザ。倉敷で培われたい草文化は花ゴザを生み出し、畳縁は倉敷市児島が全国生産の80%を占めています



地下足袋

日本独自の履物である地下足袋の持つ「独特の機能」と「特有のフォルム」を、様々な分野に活かし、商品の開発を進めています



能勢聖紅 会場のメインディスプレイ作品

全国的な活動を繰り広げるデコレーター(装飾家)が綿花やい草などの繊維産業で発達してきた「倉敷」をイメージした作品で会場を彩ります